

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年11月13日(水) 13:00~15:00
- 3 開催場所 岐阜高等学校校長室
開催にあたり、委員による演劇ワークショップの参観を実施した。
- 4 参加者

会長	西津 貴久	岐阜大学 教授	(書面参加)
副会長	安田 洋一郎	本郷自治会 副会長	
委員	伊在井みどり	岐阜県医師会 会長	
	伊藤 知子	P T A副会長	
	高木 敏彦	岐阜県教育文化財団 理事長	
	中村 こず枝	岐阜市保健衛生部長兼保健所長	(書面参加)
学校側	石田 達也	校長	
	小野寺 彰	事務部長	
	笠原 常豊	教頭	(書面参加)
	高田 剛	教頭	
	石川 翔太	教務部長	
	北川 英治	生徒指導部長	
	黒井 昌和	進路指導部長	

5 会議の概要(協議事項)

(1) 演劇ワークショップ参観

意見1:生徒が個々に楽しむのではなく、他者と一体感を感じながら楽しんでいる様子が見られた。コミュニケーション能力等を育むうえで良い取組みである。

意見2:物事を進めるには多くの人の力を合わせる必要があるという、これから社会に出ていく中で大切なことを学ぶことができていた。

意見3:相手の立場に立って考えることが身に付く取組みである。

(2) 学校評価アンケート結果について

意見1:生徒と保護者が共通して感じている課題はあるか。

⇒学校からの情報発信の在り方が課題であると感じている。家庭との連絡アプリや生徒とのコミュニケーションアプリ等の更なる活用も試行しているところである。

意見2：小中学校ではペーパーレスが進んでおり、保護者は学校からの連絡を、子供を通さず、直接スマホ等で確認する習慣がついている。

意見3：最近の生徒は、情報共有をスマホのアプリで行っているが、プライベートと学校の連絡の場は分けてほしい。

⇒今年度、時間割の変更について、学校で利用しているコミュニケーションアプリを通して連絡する取組みを試行している。今後もこのような取組みを進めていく。

意見4：教職員は個別の学習指導にも力を入れており感謝したい。不登校の生徒や保護者への寄り添った対応も見られ、温かい学校である。

(3) スクール・ミッション (案) について

意見1：「地域」に目を向けるというコンセプトは同感する。育ててもらった地域を出て、首都圏等で活躍しているのは素晴らしいことであるが、もう少し地元へ関心を持ってほしい。

意見2：多様性の時代であり、自分中心でなく、人と人が認め合うことが大切である。

意見3：今の時代に大切なのは共創である。その下地を高校時代に身につけてほしい。

意見4：強いばかりでなく、人の痛みがわかる優しさを持った人の育成を目指してほしい。また、誰とでも話せるような、どこに行っても自分の世界をつくることのできるようなコミュニケーション能力を身につけてほしい。

6 会議のまとめ

- ・各委員から、忌憚のない多くの意見・質問を得た。意見は、今年度後半の学校経営と次年度の経営計画の策定に反映させたい。
- ・第3回学校運営協議会では、今年度の教育活動の振り返りと次年度の学校運営に対する指導・助言を得る予定である。